



入院をしないがん治療を 支えるために 1

千葉大学医学部附属病院 看護部

松本ゆり子

(がん性疼痛看護認定看護師)



がん対策推進基本計画が目指すもの

がん患者を含む国民が、がんを知り、がんに向き合い、がんを負けることのない社会



○がんと診断された時からの緩和ケアの推進

○地域の医療・介護サービス提供体制の構築



緩和ケアはがんと診断された 時からスタート！

がんの治療

つらさや症状をやわら
げる治療 = 緩和ケア

診
断



最新のがん治療では・・・

- 入院期間が短縮
- 外来で継続できる治療の充実

自宅で自分らしく過ごしながら治療を継続できるようになってきている。

一方で、入院治療のようにいつでも相談できる環境ではなくなっているんじゃ・・・？



自分らしく過ごすために

是非看護師を活用してく
ださい！

私たち看護師がサポート
できる事を
ご紹介します



看護のサポート紹介 ～ 外来看護師 ～

- ・ 情報収集を元に、必要に応じて面談を行っている

例えば・・・病状の説明の日、化学療法の日、入院や手術についての説明の日 など



不安な気持ち、疑問がある、など、もやもやする時には、次の受診日に話を聞いて欲しい、と伝えてみてください

看護のサポート紹介 ～がん看護専門外来～

- ・がんの専門知識を持つ看護師が相談に乗っている

例えば・・・治療の選択や継続、療養の場などに関する意思決定の支援、鎮痛剤の使用に関する疑問や不安への対処 など

より適した対応が可能な看護師
との連携もしています
まずは外来看護師へご相談を！



～ 通院治療室 ～

- ・ 外来通院で抗がん剤治療が可能に
- ・ 専門的な知識を持つ看護師も配属しており、治療中にも相談が可能

点滴治療中は、新しくなった外来の最上階で、テレビなどを見ながらベッドでゆったりと過ごせます



看護のサポート紹介
(ちょっと番外編)

～がんおしゃべりサロン～

- ・患者さん同士の「わかちあい」の場
例えば、治療の副作用が辛い時の工夫、主治医との付き合い方、治療を継続しながらの就労など、参加者が自由に話し合っている

看護師は簡単な進行役。
終了後にはみなさん笑顔で帰られ、サロンで顔を合わせるのを楽しみにされています



最後に・・・

- ・ 看護師はみなさんの役に立ちたいと願っています
- ・ 是非、看護師につらさやこうしたいという希望を伝えてください
一緒にどうしたら良いか考えていきます

